



やさしく かしく たくましく

「元気と笑顔」のある学校

学校だより NO.7
令和7年8月27日
多治見市立池田小学校
TEL: 0572(22)0883

夏休みの宝物

39日間の長い夏休みが終わりました。しんと静まりかえっていた学校に子供たちの元気な声が戻ってきました。校舎もなんだかうれしそうです。

夏休み前集会では「長い夏休みだからこそできることに挑戦してください」という話をしました。私自身この夏休みは、多治見市や池田町のことに詳しくなろうと努力しました。郷土史を読んだり、郷土資料館を訪れたり、街を散策したりしました。夏休みだからこそできることです。夏休み後半に出会った3人の子にインタビューをすると、

「僕が頑張ったのは作品（モンスターカード）作り。描くのは大変でめっちゃ苦労したけど、頑張った。」……【2年生】
「夏休み明けにテストがあるから自主勉強を頑張った。あと、万博に行ってくじを引いたのが楽しかった。」……【5年生】
「自由研究（おいしい野菜の見分け方）を頑張った。農家のおじいちゃんに教えてもらいながら取り組んだ。」…【5年生】



といった答えが返ってきました。3人それぞれに頑張ったことがあり、またその頑張ったことを堂々と語る姿に、池田っ子のたくましさを感じました。できたこと、思うように進まなかったこと、できなかったことなど、いろいろあったと思いますが、経験したこと（特に自分で頑張ったこと）は、全て今後の人生の糧になります。これまで培ってきた力に夏休みの経験を上乗せしてさらに飛躍してほしいと願っています。

さらなる飛躍のために

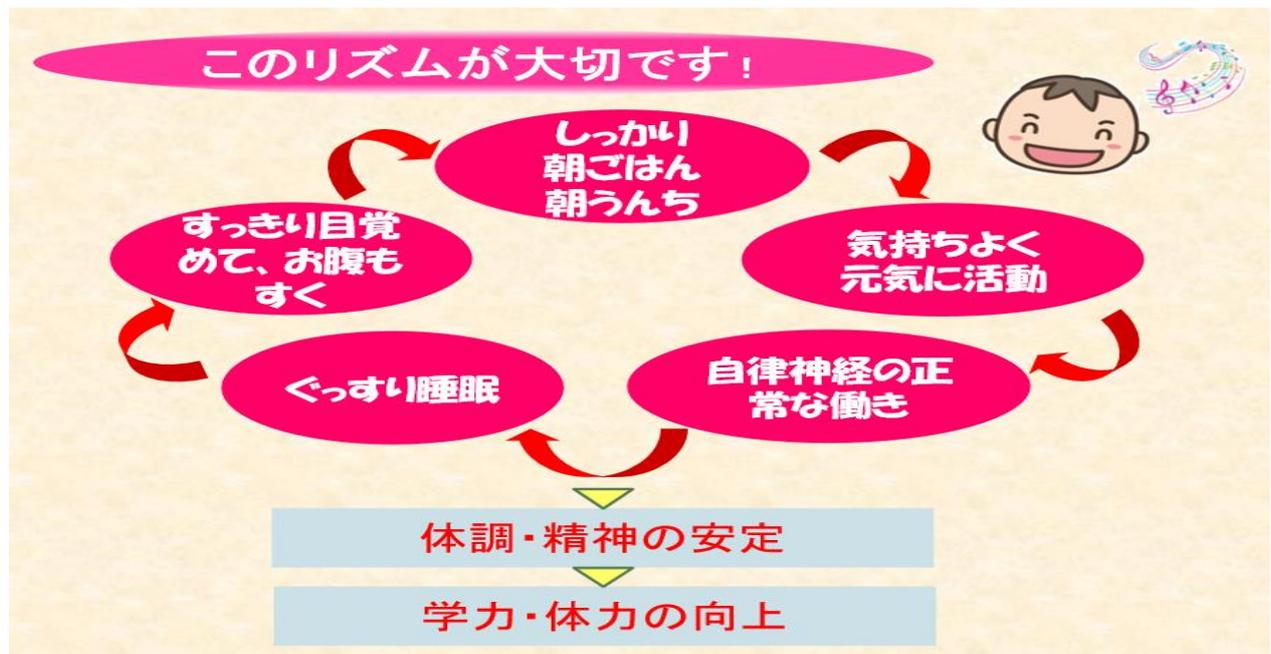
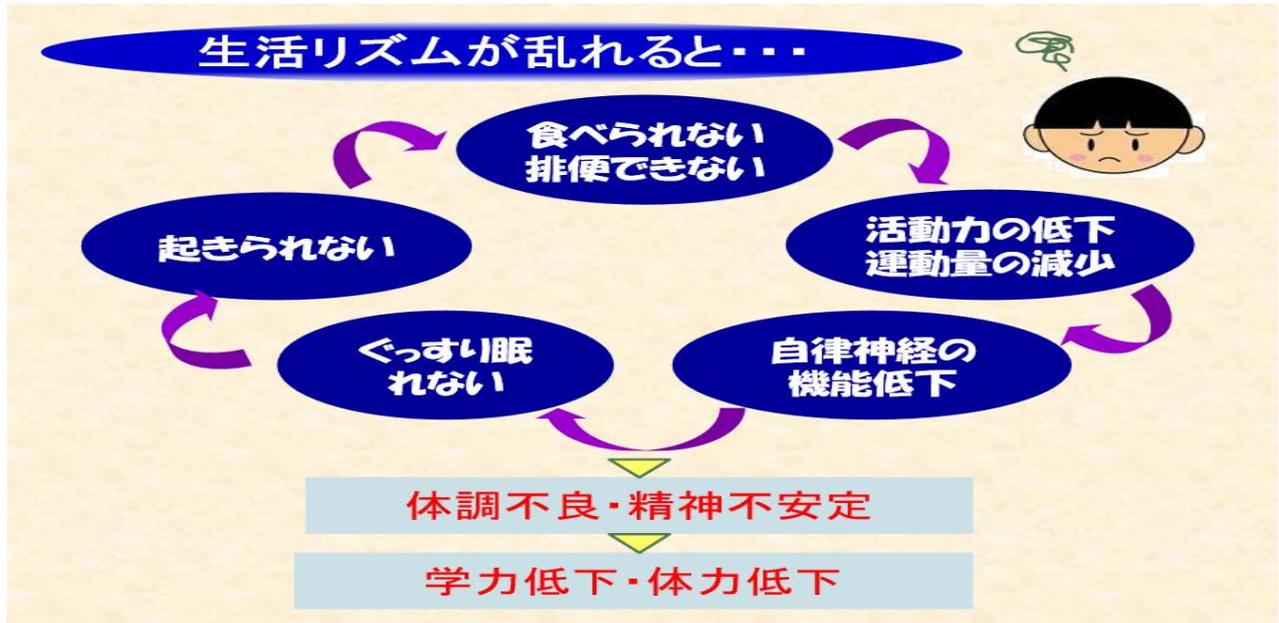
家庭：早寝・早起き・朝ごはん・朝うんち
学校：挨拶や時間、集団のルールを守ること



夏休みから冬休みにかけての4か月の間には、社会見学や宿泊研修、修学旅行や市の音楽祭といった大きな行事があります。こうした行事を通して、また日々の授業を通して学級や一人一人が大きく飛躍していけるのがこれからの4か月間です。そして、この4か月間でさらなる飛躍を遂げるために必要なことが、生活リズムの回復です。

学校生活でいえば、挨拶や時間、集団のルールを守ること等によりつくりだされる学校生活のリズムを1日も早く取り戻し、仲間の中でも自分のよさや力が発揮できる基盤を整えることが必要です。

学校ではこの学校生活のリズムの回復についてどの学級でも指導していきます。各ご家庭では、早寝・早起き・朝ごはん・朝うんちといった家庭生活のリズムについて見届けていただけるとありがたいです。よろしく願いいたします。



〈親育ちコーナー〉

ちょっと助けてくれるかな ありがとう！助かったよ！

親育ち4363たじみプラン事務局

残暑の中、それぞれの思いを抱えて、子どもたちが学校生活を再スタートしました。

私たちが誰かに「助けて」を伝えることの難しさは昨年度の小欄でも触れました。相手に受け入れてもらえないことへの恐れ、能力のなさやあきらめを告白する気がして、傷つくプライドの痛み。私たち、まして子どもたちにとって、そんな心の中を無防備にさらけ出すことは決して簡単ではありません。そう考えると「ちょっと助けてほしい」と、その子が言えることの値打ちに改めて気づきます。それは他者への信頼と心のエネルギーが増大した証であり、自立に向けた大きな一歩を踏み出した瞬間に他なりません。

夏休み明け、期待と不安の間で揺れているその子に、あえてごく簡単なことで「ちょっと助けてくれるかな」と声をかけてはどうでしょう。そうして、たとえいやいやだったとしても、応えてくれたら「ありがとう！助かったよ！」と朗らかに伝えます。できなくて、困っている状態は、決して恥ずかしくなんかないんだよ。つながって、乗り越えればいいんだ。今度は君の「助けて」を聴く番だ。大丈夫いつでも待っている。

こんなメッセージが、心に伝わり、少しずつエネルギーに変わっていくと信じます。

(教育推進課 家庭教育担当)